
 活水高等学校
 活水中学校
 No.28
 2023年
 1月10日

活ける泉

年間聖句
 あなたがたは、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。
 ペトロの手紙一4章10節

新年を迎えて

校長 大岩 厚

新しい年が始まりました。皆さんは年末からお正月にかけて、どのように過ごしましたか。元旦には、今年の目標や抱負を誓った方も多いことでしょう。昔から、日本では12月も半ばを過ぎると、新年を迎えるためにいろいろな準備をし、心を整えて静かに元旦を迎えてきました。大晦日から一夜明けると、日の出を初日の出として喜び、凜とした雰囲気の中で「明けましておめでとうございます」と挨拶を交わします。ですから、新年を迎えると、新たな気持ちで歩みを始めることができます。これは、先人が残してくれたよい知恵だと思います。

聖書の中にも、イエス様が教えてくださった知恵があります。『たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。(第二コリント4:16)』イエス様の教えは、元旦や誕生日のような特別な日だけではなく、毎日を新たな自分として歩むことができる、と教えているのです。たとえば思い通りにならない日があったとしても、神様が共にいてくださることを信じ、この一年も、日々感謝をもって新たな歩みをしたいものです。

昨年、二学期の終業式は、クリスマスツリーが飾られたチャペルで、三年ぶりとなるページェント(聖劇)を行ってクリスマスをお祝いしました。ページェントを初めて経験した皆さんは、どう感じましたでしょうか。ステージ上で劇を演じていなくても、皆さん一人ひとりが共に聖書の世界をつくりあげ、感じ取り、神様からのプレゼントを受け取ることができたのではないかと思います。

そして、皆さんが捧げてくださったクリスマス献金は、必要としている方々にお渡しし、たいへん喜んでいただきました。献金を捧げていただいたことに、改めて感謝いたします。

私たちの活水中学・高等学校では、「わたし、輝く。ともに、輝く。」事を大切にしています。自分の時間や得たものを隣人のために使い、ともに輝く。そのためには、わたし自身が輝けるよう、自分を大切に、知識や学力を高めることが必要になります。また、分断が進んでいるとされる今日の世界において、隣人を大切にすることは、異なった意見があることを受け入れる事でもあり、それは世界の平和にも通じるものです。私たちは、平和を守るために、できることを行っていきたいものです。『平和を実現する人々は、幸いである(マタイ5:9)』

この学年の仕上げとなる3学期、良い締めくくりができるよう、一日一日を大切に、よりよい歩みをしていきましょう。

活水高校・活水中学校
 公式Instagram



活水の日々の活動はこちら

わたし輝く、ともに輝く

- 高校 特別入試 1月16日(月)
- 高校 一般入試 1月27日(金)
- 中学校 B入試 1月21日(土)

- 1月行事予定
- 5(木) 冬期課外 (高ⅡⅢⅣ7日)
 - 7(土) GTEC(高Ⅰ)
 - 9(月) 成人の日
 - 10(火) 始業式
 - 11(水) 高Ⅱ小論文模試
 - 14(土) 大学入学共通テスト(15日)
 - 16(月) 高ⅠⅡ模試
 - 18(水) 高校特別入試
 - 21(土) 自宅学習日(17日)
 - 21(金) 英語中間考査(高ⅠⅡ) *授業中実施
 - 21(金) 高Ⅲ大学入学共通テスト個人面談
 - 21(土) 中学B入試
 - 27(金) 高Ⅲ修了演奏会
 - 27(金) 高校一般入試
 - 31(火) 自宅学習日
 - 高Ⅲ授業終了



創立記念式典

12月1日(木)、チャペルにおいて活水学院創立143周年記念式典が行われました。礼拝の形式で進められ、聖書はヨハネによる福音書4章1-14節、ハンドベルの献奏、校長の式辞、生徒発表として高校Ⅲ年音楽コースの三浦さんのピアノ献奏、卒業生のお話として、活水女子大学国際文化学部英語学科准教授である吉牟田聡美先生が「夢をかなえる一枚の紙」と題してご自身の経験からのお奨めをくださいました。コロナ禍のため、チャペルには中学1年生、高校Ⅰ年生が入場、他学年は教室の電子黒板と放送でのリモート参加の形をとりました。(石村直義)



ページェント

12月20日(火)、終業式に続いてクリスマス礼拝ページェントを全校生徒でお捧げしました。コロナ感染症の影響で3年ぶりの実施となり、活水中学校から活水高校へ進学した生徒を除けば、全員が初めてのページェントです。放送部のナレーションと聖書朗読に従って、各学年の代表として選ばれた役者が舞台上で、聖書の記述を再現していきます。チャペルに入ることのできた高Ⅲと中学の生徒は、聖歌隊として讃美を捧げます。吹奏楽部の前奏や後奏と讃美歌の伴奏、音コースのオルガンの奏楽、重唱、斉唱と楽器演奏、ハンドベル部の演奏や樟TwinkleStarsの合唱など音楽の捧げものも、豊かに捧げられました。また、背景画像や讃美歌歌詞の投影は写真部、照明は文芸部、舞台の移動や道具の設置、衣装はYWCAが担当し、学年の代表者だけでなく、様々なクラブが協力して行われました。(三河悠希子)



アドベントコンサート

12月14日(水)、昼休みにチャペルにて音楽コース6名による「アドベントコンサート」を行いました。クリスマスを中心に生徒達自ら選曲をし、演奏研究の授業の中で練習を重ねました。当日は沢山の友達や後輩達、また先生方に聴きにきていただきました。楽しい時を持つことができました。(杉町たまみ)



**クリスマス献金は
 137,833円となりました。
 ありがとうございました。**

*捧げられた献金は次の施設・団体にお送りしました。
 日本聾話学校、日本キリスト教海外医療協力会、チャイルド・ファンド・ジャパン、日本キリスト教協議会、など全12団体。(奥田牧子)



今月の聖句

「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」コリントの信徒への手紙Ⅱ5章17節

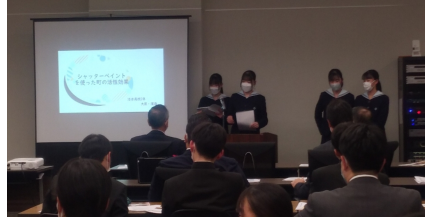
新しい年が始まりました。主の年2023年。皆さんはこの新しい年にどんな期待をしていますか。私たちは毎朝、神様から新しい朝を与えられ、新しい命を与えられ、新しい1日を人生に加えられています。その1日1日を積み重ねて1年を過ごすのです。1日1日を神様の恵みに感謝して、希望をもって歩みましょう。(三河悠希子)

高校生と県議会議員の交流会

12月15日(水)、県庁議会棟で、高校生と県議会議員の交流会が行われました。今回は県政に対しての意見発表を、県下から5校選出された(公立3校、私学2校)うちの1校として行いました。

日頃から行っているボランティア活動について、県議会議員に活動内容を説明し、活動についての意見を求めることは貴重な体験となりました。特に18歳からの選挙権を得ることとつながり、県政に積極的に関心を持つことが学校では学べない社会勉強となりました。

活水高校は、芸術を使った活性化事業と位置づけ、「離島のシャッター街を有効活用するためには」として、昨年から行っている長崎市のシャッターペイント活動の体験を中心に発表しました。良い街づくりや愛着がわく街づくりが机上の話ではなく、実体験を通して、人と人の触れ合いで町に潤いが保たれることを具体的に発表しました。そして、人との信頼が波及効果として、町の美観に繋がるとし、観光化のために事業を捉えるのではなく、住んで暮らして、楽しい街づくりが観光地としても活用できると結論づけました。発表後、場所を変えて行われた県議員との交流では、韓国釜山の街並みや京都シャッター街の例を出し、丁寧に説明することができました。(波多野慎二)



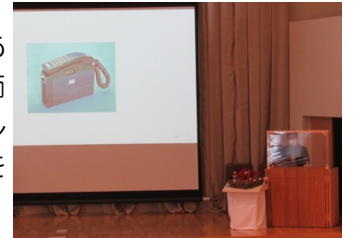
中学、平和遺構案内

11月30日(火)、中学校は特別行事として、被爆遺構案内を行いました。礼拝の後、中学3年生がガイド役になり、1~3年の縦割りの10班を編成し、9時前に学校を出発、山王神社、二の鳥居、原爆落下中心地、平和の泉、如己堂、城山小学校、浦上天主堂など、それぞれのコースで巡り、3年生から説明を聞いて見学しました。最後は平和記念像前に集合して、班ごとの記念写真を撮り、帰宅しました。各班タブレットを持参し、通信や記録に使用しました。(奥田牧子)



高II、人権教育

12月14日(水)、高校II年生の人権・平和講演会を行いました。長崎大学核兵器廃絶研究センター特任研究員の林田光弘先生をお迎えし、「あたりまえを新しくする」と題してお話を伺いました。私たちが普段「あたりまえ」と思い込んでいることが、生きている時代や国、地域、宗教、文化などのその人の持つ背景によって「あたりまえ」が同じではないことを学びました。そして、私たちの「あたりまえ」を視点や価値観を広げて新しくしていくことの大切さを教えていただきました。(三河悠希子)



マーチング表敬訪問

県知事表敬

12月14日(水)、全国大会金賞の県知事表敬訪問を行いました。知事自身がラグビー部に所属しておられたことから、部活動にける思いや全国大会に出場する難しさなど、ご経験をもとにお話をしてくださり、「長崎から全国に出場する部活動がいて大変誇りです!」と仰ってくださいました。この後マーチングリーダーのⅢ年安達麗華さん、田中凜咲子さんが練習の過程や全国大会前日京都府丹波で練習した時の出来事や、「最後まで諦めない気持ち!」を持ち続けた結果が今回の金賞受賞につながった事を話しました。知事に直接お会いし、ねぎらいの言葉をいただき大変貴重な経験ができました。(杉町たまみ)

市長表敬

12月20日(火)、全日本マーチングコンテスト金賞受賞および全日本吹奏楽コンクール銅賞受賞の報告として、田上市長を訪問しました。部員代表のマーチングリーダーⅢ年田中凜咲子さんと運営部長Ⅱ年石本菜音さんが参加し、大会までの練習や本番終了後の感想、来年に向けての抱負を語りました。私たちがからの報告終了後は、市長や同席いただいた皆様から「マーチングはどんなところが難しい?」「両方で全国大会出場はすごいね」などたくさんの質問やお褒めの言葉をいただきました。(江口希奈)



高I 探究中間発表会行われる

12月6日(火)、高I探究学習の中間発表会を行いました。「活水高校近隣におけるこれからの親子に求められる公園の設備とはなにか」、「長崎市の隠れ場スポットをアメリカ人に知ってもらうには?」など、それぞれのグループが活水女子大学生に協力してもらいながら練った内容の中間発表をパワーポイントを使って説明をしました。質疑などを受けて他のグループから良いところや改善点を指摘してもらい、本発表に向けて方向性を確認することができました。(平野智也)



高川将来学 「信念を強く持つということ」

12月14日(水)の将来学では、卒業生の崔奎梨さんをお招きしました。崔さんは、昨年中学2年生と3年生の聖書の授業を担当してくださいました。今回の講話では、高校卒業後の学び(韓国の大学進学や留学、現在は大学院に在学中)の中で、現在研究している賀川豊彦(社会運動家・キリスト教伝道者)の生き方を卒業を控えた高校Ⅲ年生に力強く語ってくださいました。(常泉晶子)

生徒の感想

・賀川豊彦という人物を初めて知った。日本にこんなに良い影響や活動をした人がいることを知って驚いた。私も信念を忘れず、常に周りの人を気遣える人、学び続ける人になりたいと思いました。
・どの時代にも自分ができることを考え、人のために働くことを主とする人がいるということが分かりました。賀川豊彦は、ただキリスト教を説くだけではなく、困っている人を助けることで自分の信念を貫いている素敵なお人だなと思いました。



大会等成績

<吹奏楽>

2022年度第49回長崎県アンサンブルコンテスト

中学校の部 クラリネット4重奏

金賞&九州大会進出

(世古・岩橋・松倉・宮崎)!

高等学校の部 フルート3重奏

金賞&九州大会進出 (石本・新永・一瀬)!

*大学の部でも、活水のバリトン・チューバ4重奏が金賞&九州大会進出を決めています。

<弓道>

全国私立高等学校弓道大会東京大会

女子の部 118チーム中

ベスト16(福田・千代田・森永)

ベスト48(西崎・高橋・坂本)

<音楽>

Pia-Conピアノコンクール佐賀予選

近現代曲部門 高校生以下の部

優秀賞 木村千優

<サッカー>

JFA全日本女子フットサル選手権大会長崎県大会

準優勝

<バレーボール>

長崎県ソフトバレーボール・フェスティバル

レディース・シルバー フリー混合の部

優勝 バレーボール部Ⅲ年チーム

準優勝 I年チーム

<お題解決同好会>

高校生条例案コンテスト(主催:活水女子大学)

優秀賞 ならびに長崎OOLOVERS賞

井澤海帆・稲富裕香・小島穂花・村本春音奈